

アクチグラフリンク

GT9-X

ACSMスタンダード、高性能加速度計

LCDモニターとジャイロセンサーで進化をしました！

リアルタイムディスプレイで測定中の情報を知ることができ、時刻表示ができるようになりました。

心拍数・温度測定、スマホでの起動確認も可能に！



搭載3次元加速度計はその信頼性をアメリカ体力医学会ACSMで確立されているGT3Xシリーズと同じものを使用。活動量測定に、体動レベル解析が簡単にACSMと全く同じ世界レベルでの標準を使用できます。

アクチグラフリンクスペック

加速度センサー	3軸ソリッドステート
解像度	0.05G
加速度計レンジ	±8G
サンプリングレート	30~100Hz(10Hz刻み)
バッテリー寿命	14日
防水仕様	IPX7(水深1mに30分間)
本体寸法、重量	35mm×35mm×10mm、14g
データ容量	240日・4GB

Energy expenditure(エネルギー消費)

体動によるエネルギー消費(PAEE)を5つの異なるアルゴリズム(FreedsonVM3、Freedson Combination等)でkcalを算出します。

METs rates(METs解析)

エポックごと(最少1秒)、時間ごと、日ごとのMETsを使用環境や被験者の状況に応じて12の異なる文献で発表しているアルゴリズムを基にMETsを算出することができます。

Cut points(カットポイント)

ACSMで定められたアクティビティカットポイントを使用して、体動レベルを解析できます。任意のカットポイントの作成も可能です。

Activity bouts(活動区間解析)

Sedentary、MVPA等の特定の体動レベルがある区間の時間や頻度、時間の長さの平均値などを求めることができます。

Sedentary analysis(セダンタリー解析)

被験者のセダンタリー行動区間を求めて、体動の動きを求めることができます。

Inclinometer(体位解析)

被験者が立位、座位、横に寝そべっている状態がわかります。器械が外されていてもわかるので、その区間を平均値の計算から外したりするのに役に立ちます。※3

IMU機能

内臓のジャイロセンサー、磁気センサー、温度センサー、を使用することができます。関節により円運動を多く含む人間の体動を詳細に記録していきます。※2

Batch Data Exports(CSV抽出機能)

解析したすべてのデータをCSVに変換することができますので、データの処理がとて楽です。多人数のデータを同時に一つのデータに集約してCSV化することもできます。

※アクチグラフリンクGT9Xは、アクチライフソフト6.11.5以降でないとは使用できません。

※2 IMUをONにすると測定時間が短くなります(2日程度)。

※3 加速度が発生しない状態だと精度が悪くなることが報告されています。

輸入・総販売元

アクチ・ジャパン株式会社

〒273-0113 千葉県鎌ヶ谷市道野辺中央3-11-4

電話: 047-494-9313 ファックス: 047-446-7461

email: kondohayato70@gmail.com